

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	病理病期 StageI B-III A EGFR 遺伝子変異陽性原発性肺腺癌完全切除後再発 リスク因子の検討
	研究目的	EGFR 遺伝子変異とは原発性肺癌の癌細胞の増殖と関係している遺伝子変 異として知られております。しかし、EGFR 遺伝子変異がある原発性肺腺 癌を切除した患者さんのうち、どのようなリスクを持つ患者さんが術後再 発を来たしやすいかについては未だわかっておりません。本研究では、 StageI B-III A 原発性肺腺癌を切除した患者さんを対象として、EGFR 遺伝 子変異陽性肺癌患者さんの再発のリスクを解析します。また同時に EGFR 遺伝子変異陰性の患者さんの再発リスクも解析し、EGFR 遺伝子変異の有 無で再発リスクにどのような違いがあるかを解析します。
	研究対象者	2010 年 1 月から 2020 年 12 月に当センター呼吸器外科にて Stage I B-III A の原発性肺腺癌に対して手術を行った患者さんのうち、EGFR 遺伝子変異 の有無が判明している患者さんが対象となります。
	研究期間	西 暦 2 0 2 2 年 3 月 7 日 ~ 西 暦 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊坂哲哉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし